

活動事例

園庭のナツミカンを使って試す

活動スケジュール：令和7年1月から令和7年3月
テーマ設定理由：草花や生き物など自然豊かな環境を生かし、幼児が主体的に自然に関わり、探求してほしいと考えたため。

環境をデザインする



先行経験として…
二週間前にナツミカンの皮を絞り、
発泡スチロールにつける実験を行っ
た。皮に含まれるリモネンの成分が
発泡スチロールやゴムを溶かすこと
を知った。



- ・ 教師がナツミカンの皮を剥き、幼児がすぐに試せるようにする。
- ・ ベンチを設定し、友達と一緒に見合うことができるようにする。
- ・ 袋を置き、使い終わった皮を入れられるようにする。
- ・ 実験に使った材料を並べるためのゲームボックスを設定する。
- ・ 園庭で試したことがその後の探究活動につながるように、ナツミカンを保育室に置く。

探究活動を実践する

個の探求



花の様子が消えた！



こするときれいになったね

伝え合う



絵が消えた！見て！

考える

ここが汚れているよ。雑巾で拭いても消えない。どうする？マジックだったらリモンենだよ。

みんなで共有



絵が消えたのは、強力な水のカだよ。溶けるのと溶けない葉っぱがある。溶けないものはきれいになった

試す



消えたよ！セロハンテープも剥がれた！リモンեն、最高！

問い「リモンエンのパワーで
どんなことができる？」

振り返りを踏まえた気付き

- ・ 問いをきっかけに結果を予測し、予測していなかった結果に驚き、新たな問いを自分たちで考えだした。さらに生活の中で同じ課題に直面したときに、経験を生かして考えたり、試したりし、新たな発見につながった。
- ・ 個で探究する姿から、活動を進めていく中で幼児同士で気付いたことや考えたことを伝え合う姿が見られた。